

これから千里 活動づくりワークショップ

第5回

2023年度に発行した、千里アクティビティガイド「これ、せん？」の活動アイデアをもとに、千里中央駅周辺の企業、市民活動団体、地域みなさんが協働して新たな取り組みを生み出しています。

そのために地域の活用できそうな場所をフィールドワークしながら見つけ出したり、協働するからこそおもしろくなりそうな活動アイデアを出したり、そのアイデアを企画して実験してみたりする全6回のワークショップを開催しています。

活動の準備をしよう

2/16 ⑩ 14:00～16:30

- 1 はじめに
- 2 前回のふりかえり
- 3 せんりひとつなぎフェスに向けて
- 4 チーム別作戦会議
- 5 発表
- 6 チラシ仕分け会
- 7 おわりに



はじめに

第5回のテーマは「活動の準備をしよう」です。いよいよ3月に実施する社会実験「せんりひとつなぎフェス」(以下、「フェス」)を開催します。各チーム個別でも集まり企画を練り上げてきました。今回のプログラムでは、フェスの開催に向けて、チームごとに具体的な準備を進めるとともに、実施に向けた課題の整理や役割分担を行いました。

① 竹の管理と活用を セットで考えるチーム

フェス当日の「MY青竹踏み」づくり体験の進め方について、作業内容を具体的にイメージしながらチームのメンバーで話し合いました。青竹から適当なサイズを切り出して割る、加工するなど、制作手順をなぞりながら必要な道具や材料などを考えていきました。そして当日に向けての材料の準備など、スケジュールなども話し合いました。



② 自然や竹にふれる きっかけづくりチーム

試作品を見ながら竹のカスタネットの作り方や形、当日の進め方について話し合いました。竹の切り出し、穴あけ、デコレーションなどの手順や2種類のカスタネットの音を聞き比べたりしながら体験内容を検討しました。ほかにも、竹のモルックやポッコリなどいろんな試作品をみんなで触って体験しながら、配置や役割分担についても相談しました。



③ 特産品づくりや 情報発信チーム

千里の「食」の魅力を再発掘してマップをつくるプログラムについて、そのブースのあり方や必要となる備品などについて話し合いました。実際の場所となるコラボ前2Fテラスを下見したり、「食の思い出カード」のデザインなども検討しました。また、他チームのメンバーには千里での懐かしい食に関する写真の提供についても相談しました。



4 ティーンのとまり場づくりチーム

今回もブックマルシェの運営準備を進めました。まず、当日の流れや役割分担を整理し、会場レイアウトをシミュレーションしながら配置を調整。必要な備品のリストを作成し、準備を進めました。また、より多くのティーンに参加してもらうため、出店希望者の募集方法についても話し合い、ワークショップメンバーによる呼びかけを強化しました。



5 子どもの遊び場づくりチーム

千里の自然を五感で感じるあそび場づくりの企画。イベントで実施するツアーの流れや参加者にふるまう笹茶の作り方などについて確認しました。また、ツアーの体験プログラムの紹介についてリーフレットや動画、実物展示などプレゼン方法についても検討しました。竹チームの活動に同行させてもらい、竹コップづくりにも取り組みます。



6 子育てしやすくなる場や仕組みづくりチーム

子どもから少し離れて大人だけでゲームをしたりしながら子育ての情報交換や悩みを話せる場をつくっています。メンバー同士で当日使用するゲームを試してみたり、試作クッキーを食べたりしました。さらに、参加者への注意事項の検討や、当日のタイムスケジュールや申込みフォームでの受付開始に向けて準備を進めました。



チラシ仕分け会

ワークショップの最後には、フェスの広報活動の一環としてチラシの仕分け作業を行いました。メンバーで手分けして作業を進めたところ、当初は時間がかかると思われていた作業も、協力し合うことで短時間で効率よく完了することができました。



せんちゅう
ひとづな
フェス

あなたの一歩で何かがはじまる

2025/3/29

※雨天時は3/30に順延（一部プログラム変更あり）

会場：千里文化センター「コラボ」、
せんちゅうパル北広場、千里東町公園

